

大和アセットマネジメント
資産運用普及センター
2026.09

月
日
曜日
日直

金融経済教育テキスト

年金編

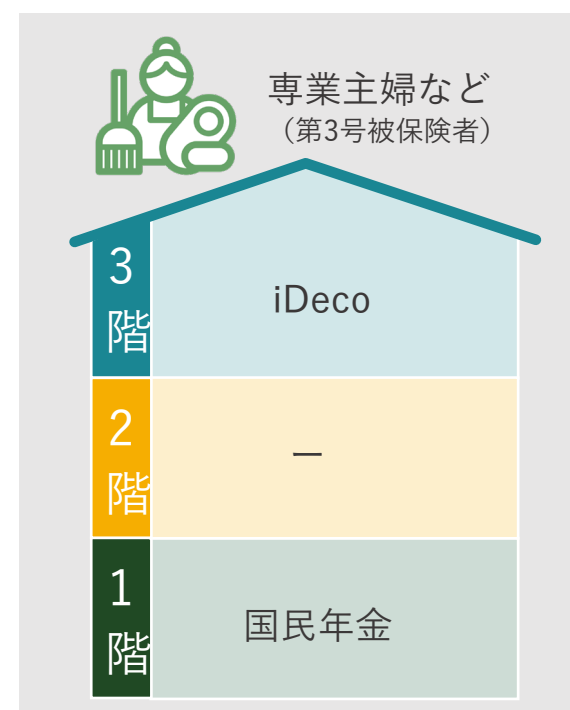
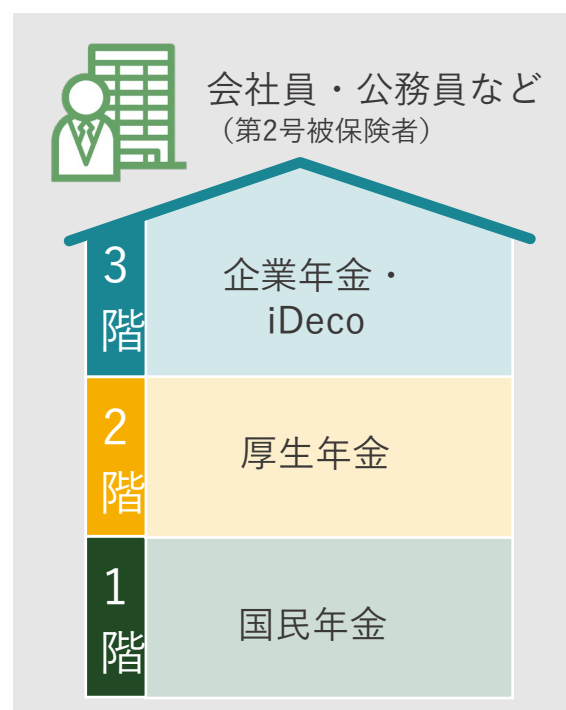
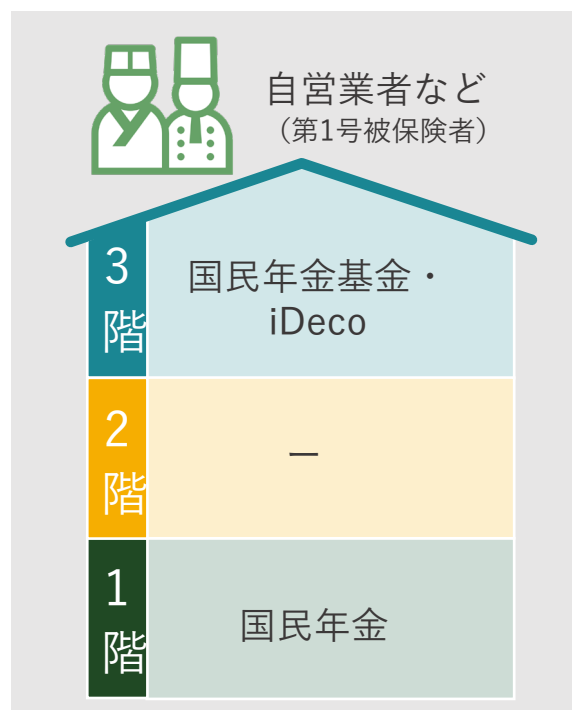


未来を見上げた、その先に。
ファイナンシャル・ウェルビーイング

1. 年金制度の仕組み

- 日本の年金制度は3階建てといわれており、**公的年金が1・2階部分**、**私的年金が3階部分**にあたります。
- 公的年金の1階部分は20歳以上60歳未満の人が全員加入する**国民年金（基礎年金）**、2階部分は会社員や公務員等が加入する**厚生年金**です。
- 公的年金は国の社会保障制度の一つとして、社会全体で高齢の方や障がいのある方、経済的な支えを失った遺族の方の生活を支える制度です。

● 年金制度の仕組み図 ●



(出所) 厚生労働省

2. 公的年金はどんなときにもらえるのか

- 公的年金制度に加入して保険料を納め続けることで、65歳から「**老齢年金**」を受け取れるほか、若くても万が一のときには「**障害年金**」や「**遺族年金**」を受け取ることができます。
- ただし、必要な手続きを行わず保険料を未納のまま放置すると、これらの年金が受け取れなくなる場合があるため注意が必要です。

老齢年金

基礎年金

厚生年金



65歳になってからもらえる

障害年金

基礎年金

厚生年金



障害を負った場合にももらえる

遺族年金

基礎年金

厚生年金



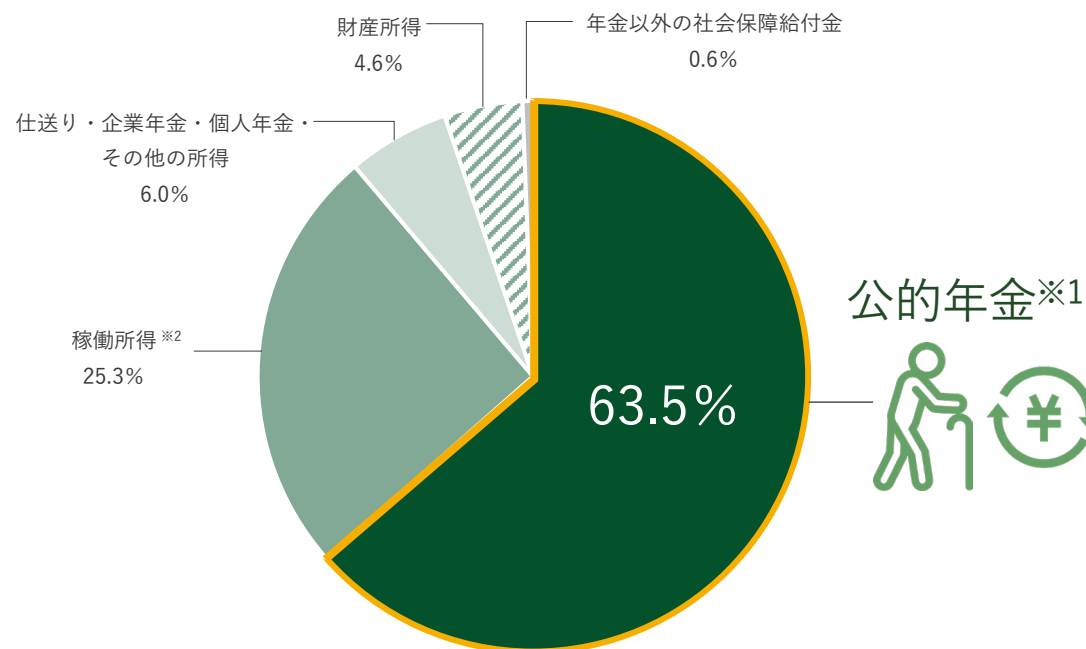
家族が死亡した場合にももらえる

(出所) 厚生労働省

3. 多くの高齢者の生活を支える公的年金

- 高齢化が進む日本において、公的年金は高齢者の生活を支える役割を担っています。
- 公的年金※¹を受給している高齢者世帯の約4割は、収入が公的年金のみです。早いうちから正しい知識を付け、将来の自分を支えるお金について考えてみましょう。

● 1世帯当たり平均所得金額の構成割合（高齢者世帯） ●



※¹ 公的年金には恩給を含む

※² 稼働所得とは、企業で働いて得た給料や賞与のほか事業を営んで得た利益等を指す

（出所）厚生労働省「2024（令和6年）国民生活基礎調査の概況」、日本年金機構より大和アセットマネジメント作成

4. 年金の繰り下げ受給・繰り上げ受給

- 老齢基礎年金・厚生年金は、**原則65歳**から受け取れますが、希望すれば受給開始時期を変更することができます。
- 65歳より早く受給を開始することを、**繰り上げ受給**といい、早く受給する分、年金月額が**減額**されます。65歳より遅く受給を開始することを、**繰り下げ受給**といい、遅く受給する分、年金月額は**増額**されます。

65歳よりも
早くもらう

65歳よりも
遅くもらう

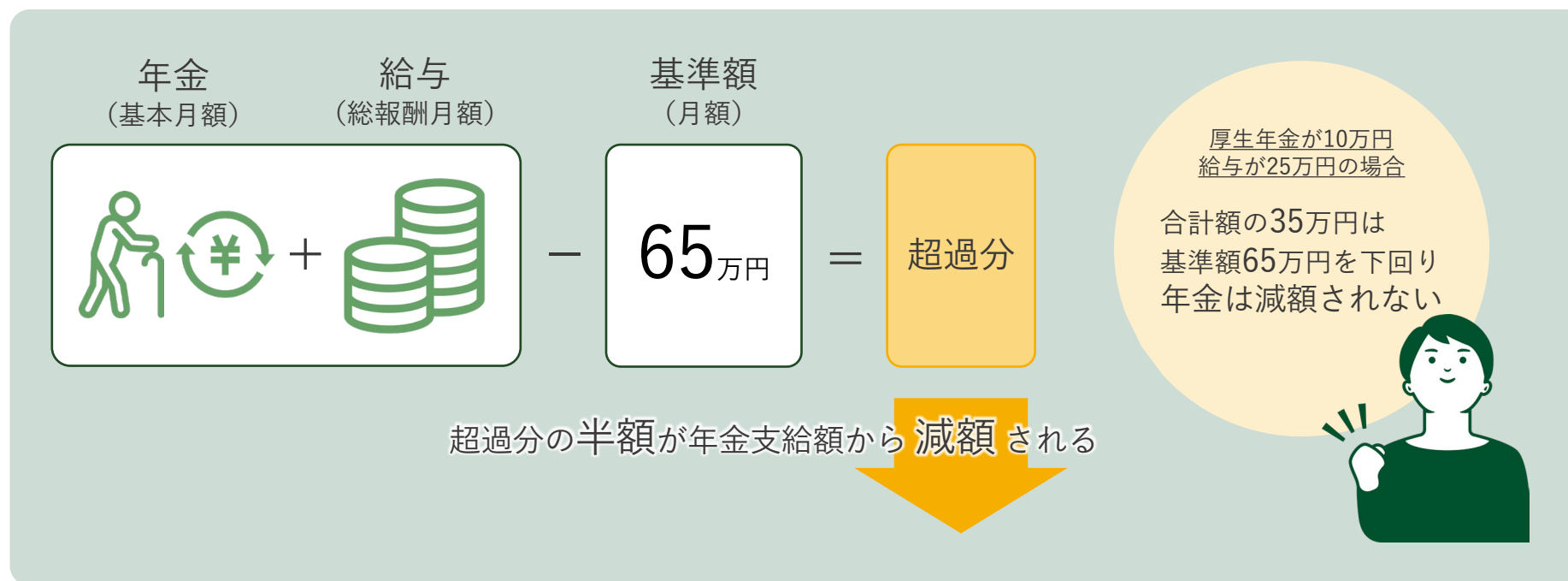
	繰り上げ受給	繰り下げ受給
受給開始年齢	<u>60歳～65歳</u> になるまで	<u>66歳～75歳</u> まで
年金額の変動	1カ月あたり <u>0.4%</u> 減額（最大24%減額）	1カ月あたり <u>0.7%</u> 増額（最大84%増額）
メリット	年金を早くから受け取れる など	増額された年金額が一生続く など
デメリット	減額された年金額が一生続く など	早くに亡くなると年金の受給総額が減る など

（出所）日本年金機構より大和アセットマネジメント作成

5. 在職老齢年金について

- **在職老齢年金制度**とは、働きながら厚生年金を受け取る高齢者の、賃金と厚生年金の合計が一定の**基準額**を超える場合、**厚生年金の支給額が減額**される制度です。
- 収入が多い高齢者に年金制度を支える側になってもらう仕組みですが、2026年4月の制度改正により、**基準額が51万円から65万円**に引き上げられました。
- 高齢者がしっかり働いても年金が減額されにくくなり、就労が継続しやすくなったといえます。

● 在職老齢年金の仕組み ●



(出所) 厚生労働省、日本年金機構

6. 自分の年金を試算する方法

- 誕生日ごとに、日本年金機構から「ねんきん定期便」が送られてきます。50歳以上の方は老齢年金の見込額が記載されますが、50歳未満の方は加入実績分の年金額しか記載されていません。簡単な数式を使うことで年収を参考に60歳まで加入した場合の老齢年金の見込額が試算できます。
- 厚生労働省の「**公的年金シミュレーター**」でも将来受け取る老齢年金の見込額を試算できます。

大まかな老齢基礎年金と老齢厚生年金を算出する式

老齢基礎年金 = $2\text{万円} \times 60\text{歳までの年数}$

老齢厚生年金 = $\text{年収} \times 0.55\% \times 60\text{歳までの年数}$

【32歳0か月、平均年収600万円の場合】

老齢基礎年金 = $2\text{万} \times 28\text{年} = 56\text{万円}$

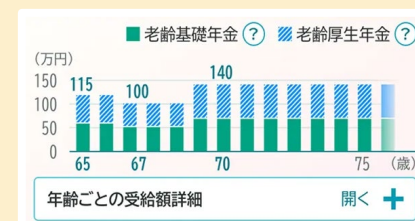
老齢厚生年金 = $600\text{万} \times 0.55\% \times 28\text{年} = 92.4\text{万円}$

65歳からの年金見込み額

ねんきん定期便に記載の
加入実績分の年金額 + $56\text{万円} + 92.4\text{万円}$

【ご参考】厚生労働省「公的年金シミュレーター」

将来の年金額を
計算してみよう！



(出所) 日本年金機構、厚生労働省より大和アセットマネジメント作成

参考：20歳になったらどうすればいいのか

- 20歳になった方には、国民年金への加入・納付が法律により義務付けられています。加入にあたり届く基礎年金番号通知書は、保険料納付の確認や将来年金を受け取る際に必要となります。
- 学生で納付が困難な場合、**学生納付特例制度（ガクトク）**に申請することで納付が猶予されます。ガクトクのメリットは、①老齢基礎年金を受け取るために**必要な期間（受給資格期間）**に算入されること、②病気やけがで障害が残ったときに**障害基礎年金を受け取れる**ことがあります。

● 納付・学生納付特例・未納のちがい ●

	老齢基礎年金		障害基礎年金 遺族基礎年金
	受給資格期間への算入	年金額への反映	受給資格期間への算入
納付	○	○	○
学生納付特例（ガクトク）	○	×	○
未納	×	×	×

※障害基礎年金および遺族基礎年金を受取る為には一定の要件があります。

※猶予された保険料は後から納付（追納）することができ、追納した場合は将来の年金額に反映されます。

（出所）日本年金機構

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

月

日

曜日

日直

将来の安心のために、
年金のしくみを知ろう

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management